



2024年10月29日

各位

上場会社名 積水樹脂株式会社
代表者名 代表取締役社長 兼 CEO 馬場 浩志
(コード番号 4212 東証 プライム)
問合せ先 取締役 兼 常務執行役員 財務・IR担当 菊池 友幸
(TEL 06-6365-3288)

第2四半期(中間期)連結業績予想と実績との差異、 及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2024年5月13日に公表いたしました2025年3月期の第2四半期(中間期)連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、これに伴い、2024年5月13日に公表いたしました2025年3月期の通期連結業績予想についても修正いたしましたので、下記のとおり併せてお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績との差異

(2024年4月1日~2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	33,300	2,600	2,850	2,020	61.71
今回実績(B)	33,053	1,694	1,910	964	30.04
増減額(B-A)	△246	△905	△939	△1,055	—
増減率(%)	△0.7	△34.8	△33.0	△52.3	—
(ご参考) 前期第2四半期(中間期)実績 (2024年3月期第2四半期)	27,886	2,529	2,837	1,944	51.08

(差異の理由)

当中間期における売上高につきましては、連結子会社化したWEMASグループは堅調な業績に加えて円安影響もあり、期初想定を上回る結果となりました。一方で、既存事業において、期初想定を上回る事業があるなか、公共分野の景観関連事業、民間分野の住建関連事業が期初想定を下回ったこと、公共分野の関連グループ会社事業が工期の遅延や長期化の影響を大きく受けて売上減になったことで、連結全体としては業績予想を若干下回る結果となりました。

営業利益につきましては、高収益の景観関連事業や住建関連事業の売上高に占める割合が低下し全体の収益性を押し下げたことに加えて、公共分野の関連グループ会社事業の売上減に伴う利益の減少や、民間分野の関連グループ会社事業において期初想定を上回る原材料価格(アルミ)の上昇による影響があり、業績予想を大きく下回る結果となりました。なお、WEMASグループについては、のれん償却額を加味した営業利益ベースで若干の増額となりました。

2. 2025年3月期通期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	75,500	6,500	7,000	4,850	148.16
今回修正予想(B)	76,500	6,000	6,150	3,650	116.79
増減額(B-A)	1,000	△500	△850	△1,200	—
増減率(%)	1.3	△7.7	△12.1	△24.7	—
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	62,790	6,298	6,969	4,671	131.20

(修正の理由)

通期の業績予想数値につきましては、当中間期の結果に加え、直近の事業環境等を勘案し、売上高を上方修正する一方で、利益面では下方修正することといたしました。

当下期の業績予想においては、2024年5月13日に公表いたしました業績予想よりも売上高、営業利益において増額させる修正内容としております。公共分野においては、工事遅延・工期変更等により後ろ倒しとなった物件を着実に実績化することや、防災・減災対策予算に対応した製品の総合提案などによる増収を見込んでおり、民間分野においては、製品価格改定による収益性の改善や堅調な物流業界の省力化ニーズを背景とした製品の拡売などを見込んでおります。

これらの取り組みにより収益の拡大を目指しますが、当中間期までの下振れ分を補うほどの利益の回復は見通すことができないため、通期予想といたしましては下方修正といたしました。

※ 上記予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上